

令和4年12月15日（木）現在

【 果 樹 】

ミカン、カキ、リンゴについては、流通在庫を解消しきれず、一部銘柄産地を除き厳しい販売が続いている。

干し柿については、徐々に相場を下げ、売り場拡大に向けた販売となる見通し。

<あんぽ柿>

山梨県産はダラダラとした入荷が続き、長野県産も増量していることから、全体的には緩慢な荷動きとなっており、保合相場の見通し。今後の年末需要の高まりが期待される。

「平核無 200g トレー」 特秀 4L 330 円 青秀 4L 300 円

「蜂 屋 230g トレー」 特秀 4L 430 円 青秀 4L 400 円

【 野 菜 】

果菜類、葉茎菜類の一部品目は気温低下による入荷減少から相場は底上げの販売となったが、重量系野菜などは入荷減少も流通在庫が多く軟調な販売が続いた。

年末の商談は概ね終了しているが、現状の野菜全般の軟調な販売であることや、当初の予報より気温高で推移している環境から、年末は平年並みの数量及び価格での提案となる品目が多数となっている。

いちごについては、栃木県産中心の入荷となっているが、寒さの影響もあり増量ペースは鈍い状況で、今後、クリスマス業務向けの引き合いも出始めることから、相場を上げての販売となる見通し。

<いちご>

産地で曇天が続くことから見込み程増量とならない中で、業務向けの引き合いは日々強まっており、やや不足感が漂う状況から、相場を上げての販売となっている。

@ L 600~500 円 A 450~420 円

<に ら>

各産地の入荷量は変わらず、過不足の無い環境から相場は保合となる見通し。

@ A L 85 円 ~ 80 円

<春 菊>

関東産を中心に少ない入荷が続いているが、週前半に相場を強めたことで末端の荷動きは落ち着いており、相場は保合となる見通し。

@ A 100 円 ~ 80 円